

「今年まだやり残している」と②

「一段落目」今年一年を振り返って、やり残してしまったこと、できなかったことは何か
(例)

私がやり残していること。一つは、英語の物語を読み切ること。まだ半分しか読めていない。たぶん今年中には無理だと思う。二つ目は、好きな歌手の最新の歌をカラオケで歌うこと。こつこつ練習していたが、訳あつてみんなとカラオケに行くチャンス逃した。今年中にカラオケに行くチャンスがあれば歌うつもり。三つ目は、アルバム整理。携帯で撮った写真をパソコンの中でアルバムとして整理しようと思つたのだが、まだやつていない。本当にやるのかもわからない。

「二段落目」やり残したことの中で、最も気になっているものについて説明する

(例)

四つ目は、これが一番やり残したくないことだが、友人の一人と和解すること。もう先月のことだ、別のクラスにいる友人と関係が悪くなった。理由はとてもくだらない。ある人が、私の悪口を彼女に告げたらしい。その人は、彼女の悪口も私に告げた。実に軽く、人の悪口を言ってしまう人なのだ。私は友人にムカついた。その悪口が本当に彼女の言つたことかどうか確かめずに、ムカついた。彼女の方も同じだった。彼女も私にムカついてた。でも、彼女は私に事実を確かめた。彼女の話によると、私が彼女のある欠点を笑つてたということだった。それを聞いて私は、さらにムカついてしまった。なぜそんなデマを信じるのか、信じられなかったからだ。笑つていたのは私ではなく、その話を彼女に告げた、あの人だ。「私があなたのことを笑うわけじゃないか」と思うと、私を信じなかった彼女に腹が立つてしまった。ムカつくべき相手を間違えた。私は彼女に冷たくなり、彼女もそんな私に冷たくなった。

「三段落目」なぜやり残してしまったか原因や理由を具体的に述べる

(例)

くだらない喧嘩だと思われるかもしれない。私もくだらないと思う。そもそも、私たちが喧嘩をしなきゃいけない理由はなかったはずだ。普通の友だちなら、適当な「ごめん、ごめん」で流し、空気を元に戻すことに、そんなに時間がかかることはないと思う。でも、クラスは違うが、彼女は古くからの親友だ。だからこそ簡単に謝れない。何について謝ればいいのか分からないのがまた問題だ。私は彼女に何もしてないのだ。彼女の悪口を聞かされ、私の悪口を彼女に告げられただけだ。私も彼女もお互いに、何も悪いことをしてないので、どう謝ればいいのかわからないまま時間がたつて、顔を合わせづらくなつてしまったのだ。でも、もうこの状態を続けていたくはない。

「四段落目」結論・まとめ

(例)

明日に持ち越したくないものは、今日のうちに片付けてしまふべきだと思う。彼女との関係は、今年中になんとかして修復するつもりだ。